

＜令和3年度第3回審議会での質疑・意見に対する回答＞

広域化、共同化、民間活用の三重県及び 鈴鹿市の取組状況について

鈴鹿市上下水道局



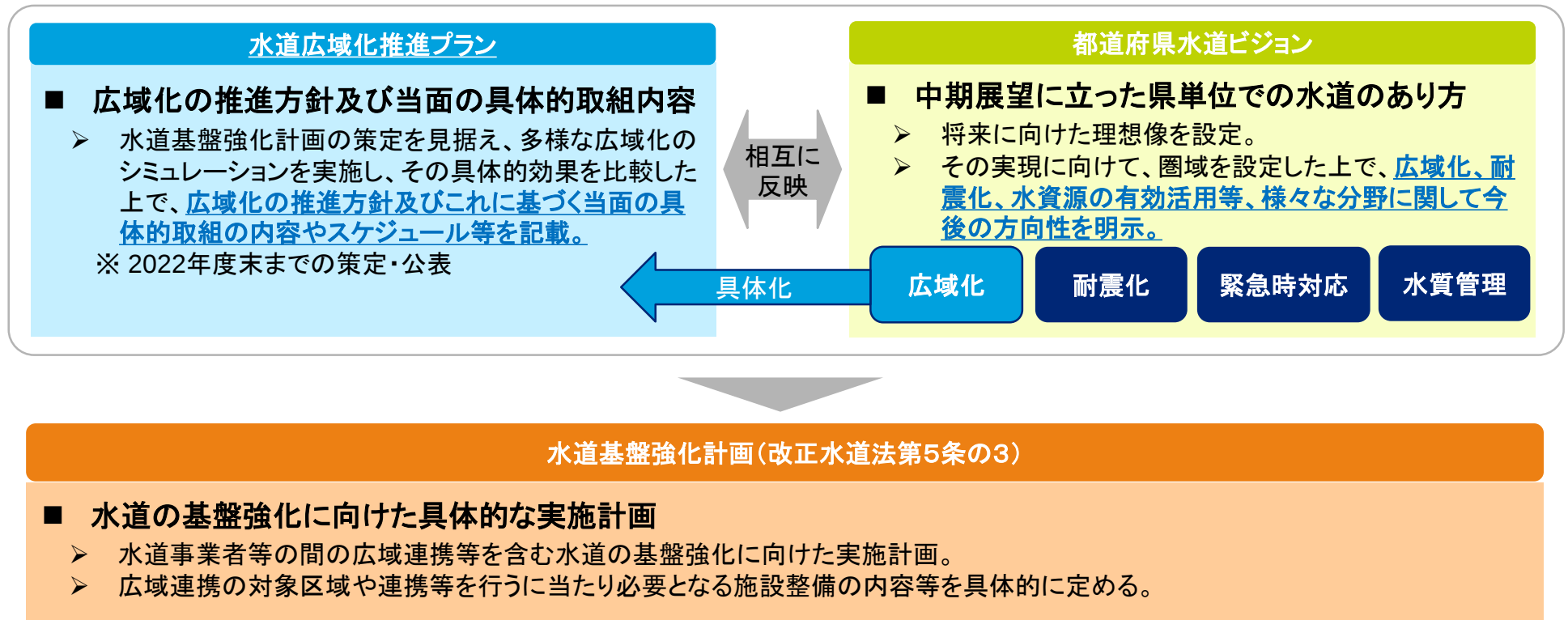
「すずかの水道」キャラクター
すいてきくん

1 水道事業

1.1 水道広域化推進プラン

2019年1月に、総務省・厚生労働省は、各都道府県に対して2022年度までに「水道広域化推進プラン」の策定を要請しました。これは、「水道基盤強化計画」の策定を見据えて多様な広域化のシミュレーションを実施し、広域化の推進方針等を定めるものです。

水道広域化推進プランの位置づけ

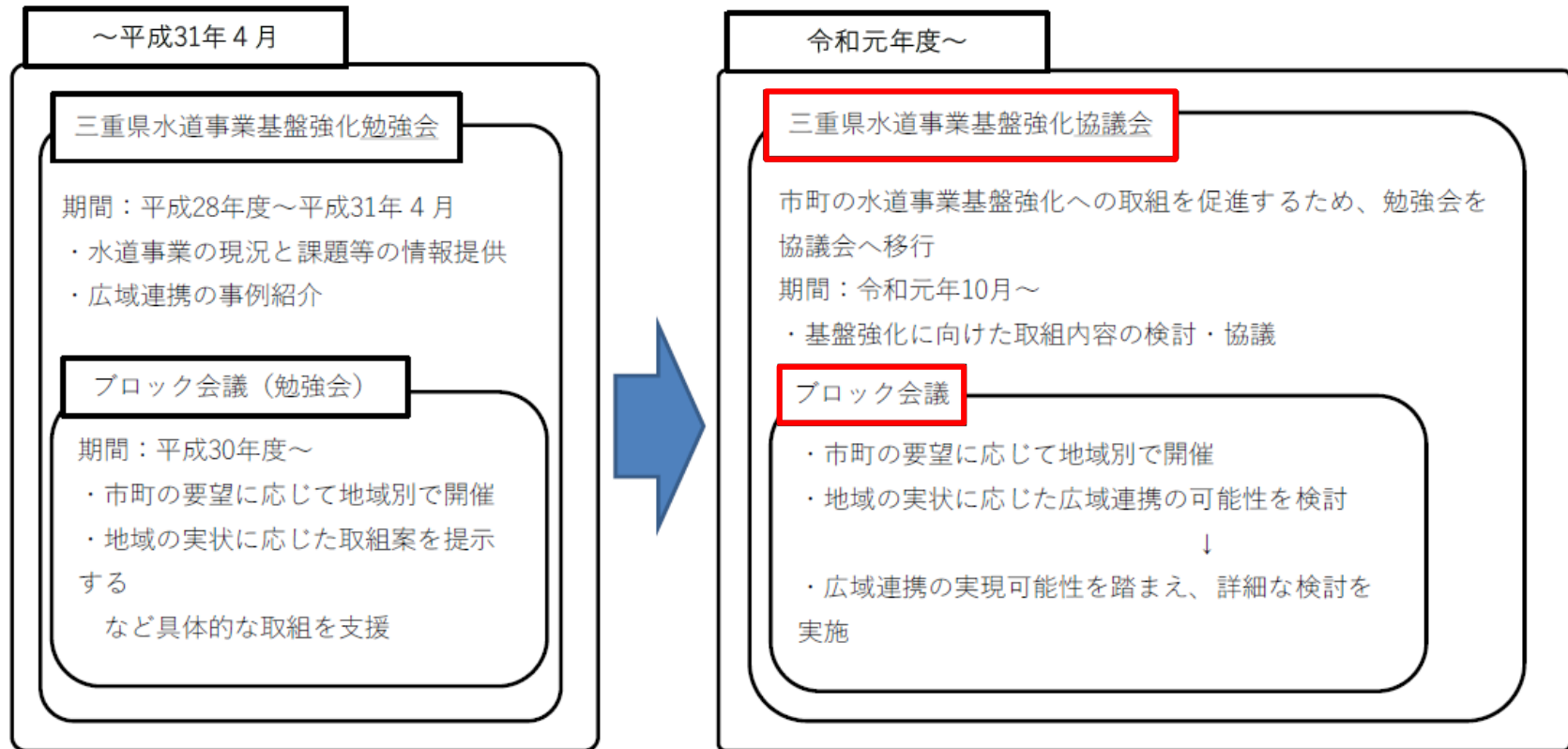


1 水道事業

1.2 これまでの取組状況

三重県では、水道広域化推進プランの策定に向けて、2019年度に三重県水道事業基盤強化勉強会を協議会へ移行して取組内容の検討・協議を行うとともに、地域別のブロック会議において広域連携の検討を行ってきました。また、2021年度には水道広域化シミュレーションを実施し、広域連携策について検討しています。

水道事業基盤強化にかかる取組概要



出所：三重県「水道事業の持続可能な仕組みに関する研究会報告書」を加工

1 水道事業

1.3 検討を予定している取組

今後検討を予定している取組は、次のとおりです。導入による効果や業務の効率化の可能性について検証し、より一層の経営健全化に努めます。

検討を予定している取組概要（答申書案5ページに記載）

■ 広域化

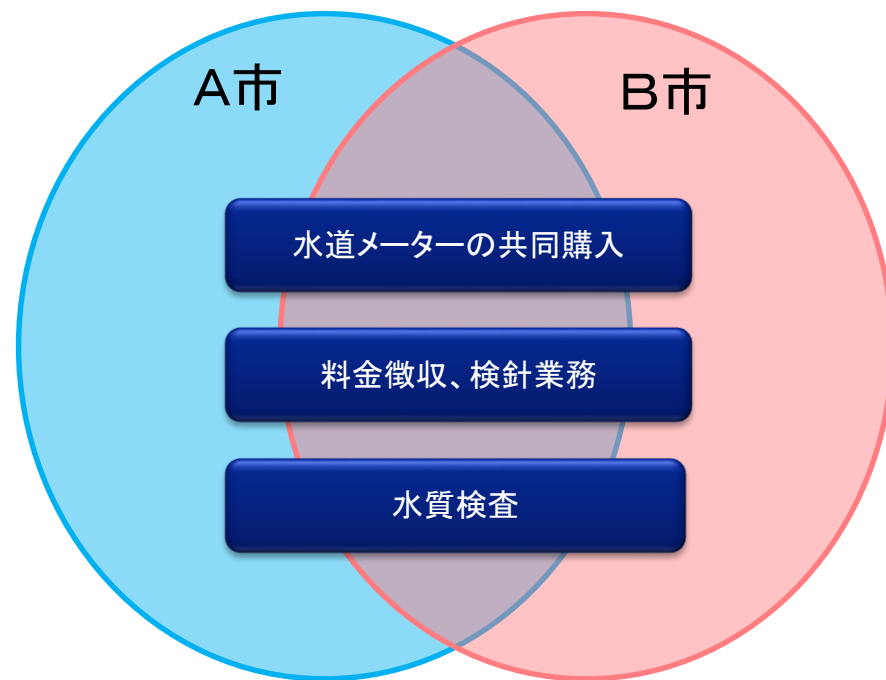
- ・水道メーターの共同購入
- ・料金徴収、検針業務の広域化
- ・水質検査の広域化

■ 共同化

- ・指定給水装置工事事業者の登録、更新事務の共同化

■ 民間活用

- ・濁水対応等の業務委託
- ・施設の運転管理の業務委託
- ・包括業務委託内容の拡充



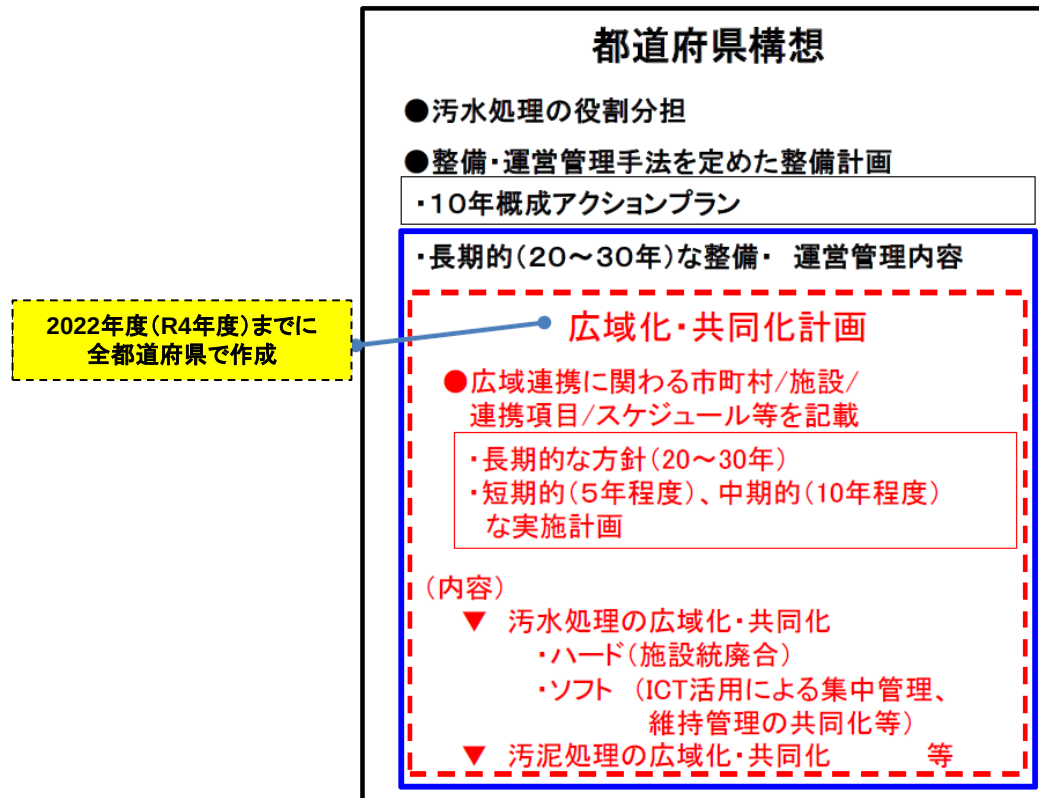
広域化・共同化のイメージ図

2 公共下水道事業・農業集落排水事業

2.1 広域化・共同化計画

2018年1月に、総務省・農林水産省・国土交通省・環境省は、各都道府県に対して2022年度までに「広域化・共同化計画」の策定を要請しました。検討にあたっては、都道府県の管内全市町村が検討の枠組みに参加して検討することが求められています。

広域化・共同化計画の位置づけ



出所:総務省・農林水産省・国土交通省・環境省「汚水処理の事業運営に係る「広域化・共同化計画」の策定について」

2 公共下水道事業・農業集落排水事業

2.2 これまでの取組状況

三重県では、広域化・共同化計画の策定に向けて、2018年度の市町の意向調査から始まり、分科会や検討会を開催し、取組内容の抽出・選定を行ってきました。

汚水処理施設の広域化・共同化に関する検討スケジュール

検討内容等	年度	平成30年度 (2018年度)		令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
市町への意向調査・結果とりまとめ		←→									
検討会の開催 県内市町間の情報共有・取組の水平展開		●	立上げ	●		●		●			
広域化・共同化のブロック割（案）の決定			4ブロック	北勢ブロック、中南勢ブロック 志摩ブロック、伊賀ブロック							
広域化・共同化ブロック毎のテーマ抽出			第1期	第2期							
テーマの実現可能性の検討 (法手続き・事務手続き上の課題抽出→市町で意見交換)				第1期		第2期・3期					
テーマの詳細検討 (メリット・デメリット整理、事業スキーム、費用対効果の算定)						第1期		統合	第2期（一部）・3期		
計画案の試験運用								第2期			
広域化・共同化計画案の策定									←→		

出所：三重県「汚水処理施設の広域化・共同化に関する全体説明会 資料1」

2 公共下水道事業・農業集落排水事業

2.3 検討を予定している取組

今後検討を予定している取組は、次のとおりです。導入による効果や業務の効率化の可能性について検証し、より一層の経営健全化に努めます。

検討を予定している取組概要（答申書案9ページに記載）

■ 広域化

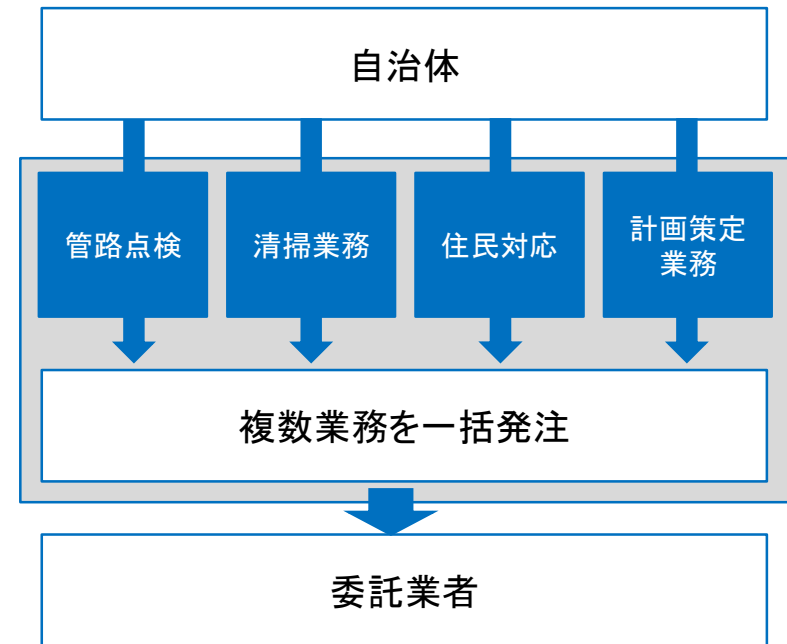
- ・農業集落排水処理施設の公共下水道への接続
- ・農業集落排水処理施設同士の統廃合

■ 共同化

- ・排水設備指定工事店の登録、更新事務の共同化

■ 民間活用

- ・管路維持管理業務の包括業務委託



民間活用のイメージ図